



©2005 石塚真一/小学館

第 183 号(令和2年3月 26 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

# 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

## 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

3月3週は6件の遭難が発生し、3名の方が亡くなっています。長野県内は、低気圧の影響を受け、まとまった降雪や強風がありました。今一度、天候やルート状況、装備品の確認を行い、無理のない計画と行動をしましょう。

八ヶ岳連峰と鹿島槍ヶ岳の3件の遭難は、いずれも下山中に発生しています。新雪や日中の寒暖差により、積雪の状態が不安定になっていることから、ピッケル操法やアイゼン歩行は慎重に行いましょう。

唐松岳では、強風によりテントごと飛ばされ、行動不能となり、1名が死亡する遭難が発生しました。冬季の後立山連峰は、日本海側から強烈な風が吹き荒れます。このような条件の中で行動すると、低体温症による行動不能や視界不良による道迷いのリスクが非常に高くなります。入山する際には天気予報を確認するほか、気象条件により山域やルート上に、どのようなリスクがあるのか確認をしておきましょう。

拇池高原では、バックカントリー滑走中にルートを見失い、行動不能となり、1名が死亡する遭難が発生しました。バックカントリーエリアに出る際には、事前にルートの入念な下調べを行うとともに、滑走中も地図やGPSにより、自分の現在地を確認しましょう。

## 週間の発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
3月16日	八ヶ岳連峰 赤岳	59	男	転倒	負傷	単独で下山中、新雪に足を取られて転倒、負傷
15日、八ヶ岳連峰赤岳において、男性59歳が滑落して負傷する山岳遭難が発生し、16日、救助要請を受けて茅野警察署山岳遭難救助隊及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
3月17日	北アルプス 唐松岳	44	男	その他	負傷	仲間と2人でテント泊中、テントごと風に飛ばされ、行動不能
		41	男	その他	死亡	
17日、北アルプス唐松岳の八方尾根において、男性41歳と男性44歳がテント泊中に強風に飛ばされ、行動ができなくなる山岳遭難が発生し、県警山岳遭難救助隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会白馬班救助隊が救助活動して、18日、44歳男性を県警ヘリで救助しました。19日、41歳男性を県警ヘリが救助し、病院に搬送されましたが、死亡が確認されました。						

3月19日	八ヶ岳連峰 赤岳	52	男	滑落	死亡	仲間と2人で下山中、滑落
19日、八ヶ岳連峰赤岳において、男性52歳が下山中に滑落する山岳遭難が発生し、県警へリで救助し、病院に搬送されましたが、死亡が確認されました。						
3月20日	北アルプス 柵池高原	40	男	不明	死亡	仲間と2人でバックカントリー滑走中、道に迷い、何らかの原因により行動不能
20日、柵池高原において40歳の男性2名がバックカントリースキー中に道に迷い動けなくなる山岳遭難が発生し、21日に県警へリ、大町警察署山岳遭難救助隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会隊員で捜索して、2名とも県警へリで救助しましたが、うち1名は搬送先の病院で死亡が確認されました。						
3月20日	北アルプス 柵池高原	40	男	道迷い	無事救出	仲間と2人でバックカントリー滑走中、道に迷い、行動不能(上記遭難者の仲間)
3月21日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	56	男	滑落	負傷	仲間と3人で下山中、滑落、負傷

21日、北アルプス鹿島槍ヶ岳東尾根において、男性56歳が下山中に滑落し負傷する山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊及び北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊が22日に捜索予定です。



#### 令和2年中の山岳遭難発生状況(令和2年1月1日～3月22日)

区分	発生 件数	死者	行方 不明	負傷者	無事 救出	遭難者 計	内) 死傷者
令和2年	38	6		19	17	42	25
平成31(令和元)年	42	6		20	23	49	26
前年同期比	-4	±0	±0	-1	-6	-7	-1
内)BC	+1	-1	±0	+1	-2	-2	±0
内)山菜キノコ採り	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0

### 山域別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高		0.0%				0	
	後立山	14	36.8%	2		9	6	17
	その他	6	15.8%	1		2	3	6
	計	20	52.6%	3	0	11	9	23
中央アルプス	1	2.6%	1				1	
南アルプス		0.0%					0	
ハヶ岳連峰	11	28.9%	2		7	2	11	
その他の山岳	6	15.8%			1	6	7	
計	38		6	0	19	17	42	

### 態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	10	26.3%	1		8	1	10
転倒	7	18.4%			7		7
病気	2	5.3%				2	2
道迷い	10	26.3%				11	11
落石		0.0%					0
雪崩	4	10.5%	1		3		4
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	1	2.6%				1	1
不明・他	4	10.5%	4		1	2	7
計	38		6	0	19	17	42

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下					0	8 24.2%					0	5 55.6%	0	13人 31.0%	
20代			1	3	4					1	1				5
30代	1		2	1	4				2	2	4				8
40代	3		3	4	10	21 63.6%			1	1	2	3 33.3%	12	24人 57.1%	
50代	1		6	4	11		1				1				12
60代			1	2	3	4 12.1%			1		1	1 11.1%	4	5人 11.9%	
70以上			1		1						0				1
計	5	0	14	14	33		1	0	4	4	9		42		
比率	78.6%						21.4%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝